

病院長名 上林 弘和

〒494-0001

所在地 一宮市開明字平1番地

交通案内  
 名鉄一宮駅より名鉄尾西線（玉の井方面）に乗車「開明」駅下車  
 「開明」駅より一宮西病院まで、徒歩約10分  
 【バスをご利用の場合】iバス一宮コース 右回り 左回り  
 「一宮西病院」下車

## 病院の特徴

一宮西病院は愛知県一宮・尾張西部地域の救急・急性期医療を担う総合病院です。2009年（平成21年）11月に一宮市開明に新築・移転し、より救急医療が充実しました。11階建ての病院内では、一般急性期病棟に加え、ICUや手術室、専門診療科外来や救急外来など多岐にわたる医療を展開。血管内治療センター、マイクロサージャリーセンター、ハートセンターをはじめとする多数のセンターで高度専門医療も実施、2020年からは尾張西部医療圏で唯一となるSCU（脳卒中集中治療室）を有する脳卒中センターも始動しました。2022年度救急車搬送台数10,570台、救急外来ウォークイン数20,900名とエリアで圧倒的な救急受入れ実績を誇っております。また、2023年7月には病院拡大を行い、完成後の一宮西病院としての総敷地面積・延べ床面積はともに約2倍、ベッド数は約1.63倍（490床→801床）、オペ室は1.58倍（12室→19室）屋上にはヘリポートも付きドクターヘリの着陸も可能となり、医療法人としては県下最大規模の病院になりました。救急・急性期医療からがん医療、在宅復帰支援機能まで“垣根のない医療”を提供できる機能を備え、これまで以上に地域医療に貢献してまいります。

## 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

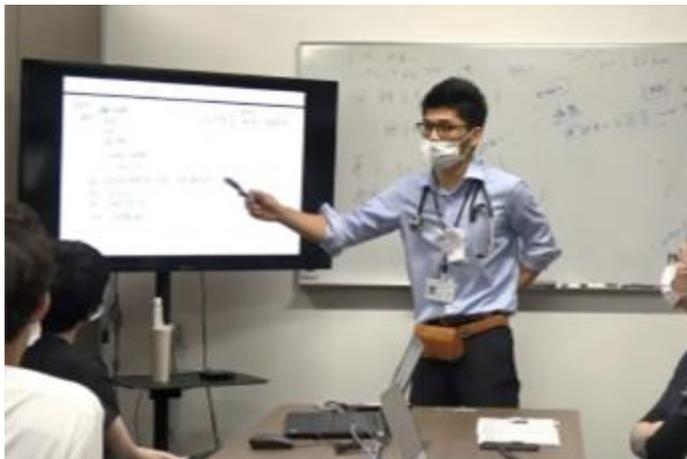
一宮西病院 総合診療プログラム

【研修特徴】

- ・総合内科、リウマチ膠原病科と一緒に教育することにより、「内科科」の向上、そして高齢者に多い筋骨格系の症状（腰痛、肩痛、膝痛など）の「整形内科」領域の臨床能力を身につけることができる。小児科当直は月1回通年。
- ・小規模の急性期から慢性期全般を診る総合医。小児科や整形内科領域も人によって守備範囲。
- ・開業医のスペシャリストとして、医師3年目から育成するイメージ。地域の課題を特定し、地域全体の社会的問題の解決にも参入する。

【研修期間】

3年



## 主な連携施設

【豊田地域医療センター】一般病床150床、回復期リハビリテーション病床40床からなる二次救急医療機関。在宅医療に力を入れ地域で総合診療医を育成することを目指しています。

【安房地域医療センター】救急センター・透析センター・リハビリテーションセンターの機能を有した救急棟を兼備し、二次救急指定病院。南房総の地域医療のネットワークを担う病院として地域医療の研修が行えます。

【かがやき総合在宅医療クリニック】

岐阜県初の在宅医療専門クリニックとしてスタートし、医師・看護師だけでなく音楽療法士、管理栄養士、歯科衛生士などの多職種で地域の在宅医療に取り組んでいます。

## メッセージ

指導医（役職名 総合内科部長 氏名 竹之内 盛志）

地域医療を守るために、医師の教育が大切な任務であると考え、積極的に取り込んでおります。科学的根拠に基づいた外来診療、入院診療の教育をすすめると同時に、患者さまを尊重し病気だけでなく人間を診るというアーサーな教育も意識しております。総合診療専攻医研修に加えて、総合内科の専門研修、リウマチ膠原病の専門研修の場を担っております。



「楽しく学ぶ やりたいことを挑戦しよう」をモットーに下記にも積極的に取り組んでおります

クリニカルセッション：- 日々の臨床的疑問を上げて、文献を調べて目の前の患者に適應するように、学びを支援します。

ジャーナルクラブ：- 月1回ジャーナルクラブを行います。スタッフで手伝います。

オンラインの学び合い・コミュニケーション：- 日々のコミュニケーションはオフライン、オンラインで行っています。膨大な学びの文献・資料を、アプリTeamsを通じてシェアをして学び合っています。

MKSAP勉強会：月1-2回、他院と連携してMKSAP勉強会を行っています

## 募集要項

・採用予定人数	2人
・給与/月額	月額667,000円 諸手当別途支給 医師3年目想定
・当直回数/月	3回程度
・当直料/回	35,000円~48,000円
・その他	
・応募連絡先	担当者 人事部 神谷 圭亮 電話番号 0586-48-0033 Eメール k-kamiya@anzu.or.jp